

< 続・三日月大造の奮闘記 >

日本の「安全と元気」をつくる！

再出発！四期目スタート！**逆境に負けず、元気に、謙虚に、「前へ！」**

今年、平成24年(2012年)も、あと3日となりました…。
五輪も、選挙も、…。いろいろあった一年でした。
書き尽くせぬ「万感去来するもの」もあります。

まずは、今年も、無事に、健康に、生きて過ごせたことに、感謝いたしたいと存じます。
賜りましたご厚情とご指導に、厚く、深く御礼申し上げます。

総選挙の結果を受けた「第182特別国会」が26日に召集されました。
当日、滋賀県草津市の自宅より、東京へ向かい、国会へ入りました。



雲一つなく晴れた空と、冷たく清らかな風が心に残る冬の日。

私も、謹んで、新たな決意で、重い重い責任を背負い、【四期目の登院】をさせて頂きました。

残念無念ながら、私たちの力不足故、「政権再交代」を許してしまいました…。
また野党に戻ってしまいました…。

まずは、この3年3ヶ月間の民主党政権の政策について、組織としての運営について、また私自身の活動も含め、人心掌握も、マスコミ対応も、…。あらゆる面から徹底した検証と真摯な反省を行い、「次へ」つなげてまいります。

「有権者(国民)の選択で、政権交代可能な政治(選挙)」は、私も目指すところです。

しかし、▼投票率が戦後最低の59.3%となったこと、▼300小選挙区の得票率43.0%と半数に満たない民意が、占有率79.0%の237議席を与え、圧倒的な与党をつくったことなどは、制度面での課題も顕在化させたのではないのでしょうか。

ともかくも、国民の選択と支持を受けて発足・船出した安倍政権には、私はエールを送ります。困難な課題が山積する難局ですが、ご経験も活かしてご奮闘されることを期待したいと存じます。

「与党を経験した健全野党」として、「是々非々」の姿勢を貫いてまいります。

私自身は、新たな体制の中、民主党の「政策調査会副会長」「社会保障と税の一体改革調査会(事務局長)」や衆議院の「国土交通委員会(筆頭理事)」などを担わせて頂く予定です。

国会での活動も、おかげさまで、10年目になります。

もっと「世界」を観て、しっかりと「歴史」を紐解き、福祉や生産・経営の「現場」に出て学ぶ機会をつくり、自らの見識を広め、人間を深くし、能力を高めていけるよう、努力を積み重ねてまいります。

倍旧のご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

来る平成25年(2013年)が良い年でありますように…。共に頑張りましょう！！

